

登録コード	E8215301	開講年度	2026					
授業科目	地理学特別実習						担当教員	廣内 大助
英文授業名	Special Practice of Geography I						副担当	内山 琴絵
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	2～4年生
講義室	教育M304			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					フィールドワークなどに必要な能力、技術を身につけることができる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					地理学で重要な地図化などの様々な技術や知識を身につけることができる		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	地理学の諸現象にかかわる情報収集と作図方法の理解、GISを用いた分析能力を育成するための基礎的な研究方法、技術を養うために必要な実習を行う。							
(5)授業計画	第1回：地図の種類 第2回：地図とその構造 第3回：測量機材とその利用方法 第4回：歩測による計測方法の理解 第5回：Auto levelを使った段差の計測 第6回：Auto levelを使った距離の計測 第7回：歩測とクリノメーターを使った地図作成 第8回：大学南側の外形計測 第9回：大学北側の外形計測 第10回：大学敷地の等高線を描く 第11回：航空写真とその利用 第12回：航空写真の判読 第13回：地形分類図の作成 第14回：描画ソフトを用いた作図（授業アンケート） 課題提出							
(6)成績評価の方法	出席は必須・提出課題（100％）から総合的に評価。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀、89-80％ 優、79-70％ 良、69-60％ 可、59％以下 不可。							
(7)成績評価の基準	毎回の課題を指示通りできれば可、応用的な工夫を加えられれば良、やや難しい応用的工夫を加えられれば優、課題だけでは難しい応用的内容まで理解し、工夫を加えられれば秀							
(8)事前事後学習の内容	毎回の課題について、復習し理解を深めることに加えて、次回課題についても授業時に指示する文献などを参考に調べておくこと。事前学習はそれぞれ1時間程度、事後は課題に対する作業で各々3時間程度を要する。							
(9)履修上の注意	特になし							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	随時対応（M419・M317研究室）							
【教科書】	適宜指示する							
【参考文献】	授業時に適宜指示する							